

令和3年度 環境で地方を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

## 成果報告会 発表資料

### 活動団体の本事業への関わり

|                                               |   |
|-----------------------------------------------|---|
| 今年度より“環境整備”に取り組む                              |   |
| 昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む                          | ✓ |
| 昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む                 |   |
| 昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む |   |

活動団体名：一般社団法人ゼロエミやまなし

活動地域：山梨県北杜市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

『持続可能でウェルビーイングな

2050年CO2ゼロやまなしの実現』

# 活動団体紹介

ゼロエミやまなしは、団体の目的に賛同する 気候変動対策・エネルギー対策・持続可能な社会づくり等に取り組む研究機関、企業、団体、NPO、行政、自治体、個人等の専門家や技術者によって構成される総合的で横断的な団体です。

CO2ゼロの目標を達成するために必要な専門分野を備え、科学的知見に基づいて、2050年CO2ゼロの社会づくりを、支援・サポートすることで、山梨における地域ローカルSDGs達成の核としての役割を担い、いち早く持続可能でwell-beingな脱炭素社会への道筋を見出し、『地域循環共生圏・2050CO2ゼロやまなし』の実現に貢献します。

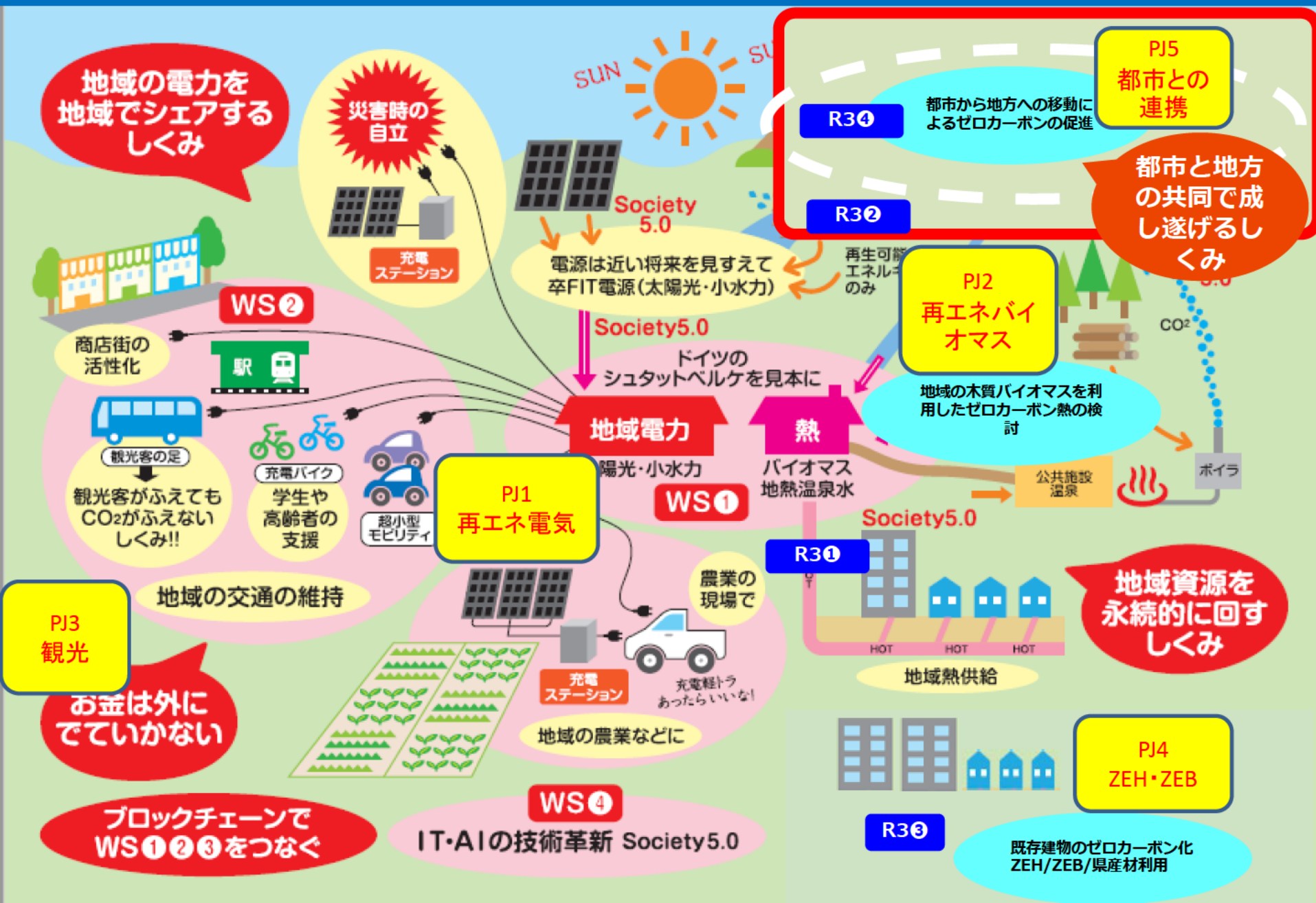
URL: <https://zeroemi-yamanashi.org/>



一般社団法人

ゼロエミやまなし

# 地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿



# 地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

プロジェクト1  
地域の再生可能エネルギー電気



プロジェクト2  
地域にある木質バイオマス



## 2021' 北杜プロジェクト



プロジェクト3  
ゼロカーボン観光



プロジェクト4  
ZEB/ZEH



プロジェクト5  
都市と地方で成し遂げる

# 取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

## プロジェクト1

はじめに

## 大きく変化してきた社会



地域循環共生圏の取り組みにTISが参画してから、2年間で外部環境が大きく変化しました・・・

新型コロナウイルス感染症の拡大

2050年カーボンニュートラル宣言



テレワーク拡大

在宅で働く機会が多くなり、オンラインでの会話が多くなっている



ワーケーション促進

場所を選ばず働くことができるため、この機会に地方に在住する人が増加



ESG市場の拡大

世界におけるESG金融の拡大に伴い、脱炭素に向けた取り組みが急加速

グリーン成長戦略  
地域脱炭素ロードマップ



新たな制度・取り組み

新たな電力取引市場  
(容量市場・需給調整市場)

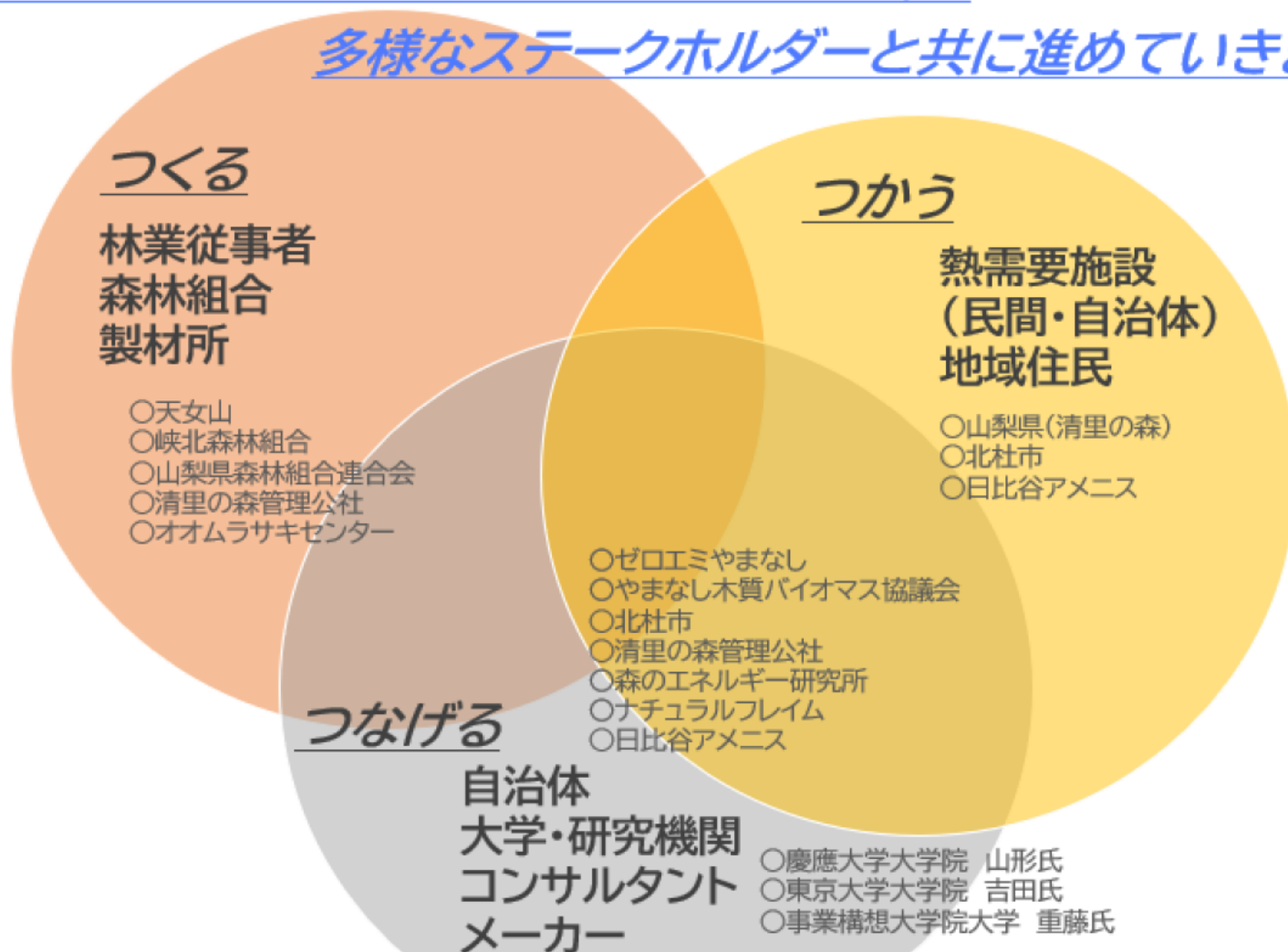
FIP制度/コーポレートPPA

グリーンライフポイント制度  
/シェアタク制度

## プロジェクト2

まだまだプロジェクトははじまったばかりです。

多様なステークホルダーと共に進めていきます。



## プロジェクト3.4.5



# 取組におけるボトルネックや新たに見えてきた課題

＝取組み全体を通して＝

ゼロエミやまなしの最優先事項は、**持続可能でウェルビーイングな2050年CO2ゼロやまなしの実現**だ。これはあくまでも公益なことであり、だれかがもうかる仕組みを作ることではない。

Society5.0の技術で、地域にあるエネルギーを地域の全員に享受できる仕組みができると考えており、私たちは、この2年間、その実現に向けて考えを巡らせた。

＝そして、明らかなことは＝

1. 北杜市には資源があること。豊かだ～(\*^ー^\*)..。
2. 技術はあること。
3. 力を合わせる必要があること。個々の取組では間に合わない

＝ボトルネックは＝ お金の考え方。



そして、私たちは1,2,3を持ち合わせたこの場所このメンバーで、そのボトルネックさえも、地域にあった新しい方法を見出して乗り越えていきたいと考えています。

# 今後の展望

- 今年度のチャレンジ、ボトルネック・課題などをふまえ、今後、どのようなことにチャレンジしていきたいか、「地域プラットフォームの構築に向けた取組」や「事業化に向けた取組」を記載くだ

## モビリティ（EV）を活用した事業推進について



### ゼロエミ山梨が実現したいこと

地域資源（再エネ・EV）の活用  
／地域企業との連携

地域住民への  
再エネ・モビリティ提供

観光・ワーケーション顧客への  
再エネ・モビリティ提供

地域経済の活性  
／脱炭素の促進につなげる

### ITプラットフォーム

シェアリング  
(予約・鍵開閉・決済)

ライドシェア  
(予約・相乗り精算・決済)

EV充電管理  
(EV認証・エネマネ・決済)

再エネ供給  
(電力小売・需給管理・決済)

### これから決めていくべきこと

- ① サービスを通じて、何を提供していきたいかの具体化（こだわりポイント）
- ② 誰が主体的にサービスを提供していくのか
- ③ 自治体・地域企業・事業会社との役割分担
- ④ POCする上でのKPI設定（事業性の評価）

↑ とても重要